

活動報告（速報）

防災講演会「災害時要援護者が助かる道」

主催：「さぼれす九九しゃ」

日時：2014年12月6日（土） 14：00～15：30

場所：奈良市防災センター

「災害時要援護者が助かる道」と題する講演会に災害時要援護当事者として出席してきました。本NPO会員の柏田勝幸氏が代表を務める「さぼれす九九しゃ」主催、本NPOなどが後援するもので、講師は村井雅清氏（被災地NGO協働センター代表、神戸学院大学客員教授などの要職歴任）でした。

本会からは片瀬副理事長、太田理事兼事務局長、飯沼会員、および清水監事が参加しました。災害時の要援護者（高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、日本語が話せない外国人など）へ関心を持つ約50名の参加者を得ての講演会でした。

筆記者4名、手話通話2名のボランティアが要領よく講演をサポートする内容豊富なプレゼンテーションと質疑応答でした。

車いす常用の災害時要援護当事者としては、まずは日頃から一人ひとりが防災・減災に対する問題意識を持ち、出来ることから備えておくことが、「自分の命を守る」うえから大切ではないかということ、そして、幸いに自分の安全が守られた時には、平常時に参加しておいたネットワークを活かして被害に遭われた方々のために少しでもお役に立ちたいということ、等を再認識することができました。

微力ながら、筆者は中越地震や東日本大震災の際、所属する障がい者団体の運営に加わりながら被災障がい者施設への支援を行った経験を持ちます。 清水煌三（監事）



会場の様子（柏田氏による趣旨説明）

村井雅清先生